

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020380

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	11	社会保障制度の充実	事業優先度	B		
単位施策	4	低所得者の自立の支援	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	法外援助扶助事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5 保健福祉課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	対象件数		関係課	#N/A		
事業目標	全対象世帯への扶助		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	雄武町共同募金委員会では、毎年12月に歳末たすけあい運動を実施し、独居老人世帯、在宅障害者等を対象に明るく楽しい正月を迎えられるよう、歳末見舞金を支給しており、雄武町も歳末見舞金の一部を支援する。	法外援助費を支出する。	法外援助費を支出する。	法外援助費を支出する。	法外援助費を支出する。	法外援助費を支出する。	
	事業費(千円)	1,000	200	200	200	200	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	1,000	200	200	200	200		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	277	116	97	64	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	277	116	97	64			
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 低所得世帯などを対象に行っている共同募金事業「歳末たすけあい運動」に行政が義援金の一部を支援する。 支給対象 28件 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 低所得世帯などを対象に行っている共同募金事業「歳末たすけあい運動」に行政が義援金の一部を支援する。 支給対象 25件 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 低所得世帯などを対象に行っている共同募金事業「歳末たすけあい運動」に行政が義援金の一部を支援する。 支給対象 23件 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	全対象世帯への扶助	全対象世帯への扶助	全対象世帯への扶助	全対象世帯への扶助	全対象世帯への扶助
		年度達成率	58%	49%	32%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	12%	21%	28%	28%	28%
	備考欄						

事業名	法外援助扶助事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係長	内宮真希

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	低所得者等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	歳末見舞金の支援
【抱える課題やニーズは】	社会的弱者が地域で安心して暮らせるよう総合的な支援が求められている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	低所得世帯における生活保障を補う貴重な援助となっており、自立更生に努めている低所得世帯への激励及び福祉の向上を図る。	① 支援実績	目標年度 目標値 実績値 達成度
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	低所得世帯の生活の安定化が図られると共に自立更生に貢献する。		平成27年度 64千円 64千円 100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	歳末見舞金の支援	②	目標年度 目標値 実績値 達成度
	義援金収入を控除し、雄武町社会福祉協議会との折半による負担		平成27年度 #DIV/0! #DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	12月(歳末)において町民に安定した生活を送ってもらうため、雄武町共同募金委員会が展開する「歳末たすけあい運動」へ見舞金の一部を支援する必要性は高い。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことで、12月(歳末)における要保護世帯等の生活に支援を行うことができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	平成18年度まで、定額で支給してきたが、平成19年度から、雄武町社会福祉協議会との折半による負担としている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	安定した生活確保のための見舞金である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
働くことができない町民や要保護世帯等へ見舞金の支給は重要であり、町民の生活及び福祉の向上を図るうえでも、計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
12月(歳末)における町民の安定した生活を送るための措置として町の支援は必要性が高く、要保護世帯の自立支援を促進するため、継続維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止